

図書館だより



宇都宮市立星が丘中学校

令和3年 6月号

雨の多い季節になりました。図書室を利用する人が増えてうれしいのですが、密になってしまうのが心配です。特に、昼休みは学年ごとの、貸出しと返却のみの利用です。ご理解とご協力をお願いします。

令和3年になってから5か月が過ぎました。早いものです。冒険活動教室、社会体験学習、中間テスト、いろいろな行事に前向きに取り組み、経験するうちに、あっという間に時が過ぎると感じているのではないのでしょうか。時間の使い方を考えてみましょう。(6月10日は「時の記念日」でした。)

6月15日は栃木県民の日 ~栃木のこと知っていますか?~

1868(明治元)年、戊辰戦争を経て、明治政府が誕生しました。政府は中央集権体制をおし進めるため、廃藩置県を行いました。このとき、下野の国には、24県が成立しました。さらに、県の整理統合が進められ、明治4年には栃木県と宇都宮県となりました。明治6年には両県が合併し、ほぼ今日の栃木県が誕生しました。

(参照:ふるさと栃木県の歩み)

- | | |
|----------------------------|------------------------------------------|
| ★県の花 ヤシオツツジ | ★伝統工芸品 益子焼・日光彫・ふくべ細工など |
| ★県の木 トチノキ | ★主な文化財 東照宮・輪王寺・二荒山神社(日光市)
足利学校(足利市)など |
| ★県の鳥 オオルリ | ★郷土料理 しもつかれ・ゆば料理・ちたけそばなど |
| ★主な生産品 いちご・大麦・
かんぴょう など | (都道府県なるほど解説 上巻 参照) |

『栃木「地理・地名・地図」の謎』291/シ

篠崎茂雄/監修 実業之日本社

★「栃木」という地名の由来は?日光の「戦場ヶ原」でどんな戦いがあったかなど地理、地名、地図にまつわる話が満載。



『あなたの知らない栃木県の歴史』21/ヤ

山本博文/監修 洋泉社

★栃木県の歴史、古代から近代まで意外と知られていない歴史を紹介。身近な話もあり、一つの事項が短くて読みやすい。日光東照宮の「三猿」は、作品群の一部であるなど。



『栃木あるある』361/ア

阿久津たかを/著 TOブックス

★栃木県の県民性、グルメ、言葉(方言・アクセント)など共感が持てる?ことが書かれていて面白い。

『栃木のおきて』291/ト

栃木県地位向上委員会/編 ア・ス・スタ・インタータイムト



6月は環境月間です



6月5日は「環境の日」でした。これは、昭和47年6月5日からストックホルムで開催された「国連人間環境会議」を記念して定められたものです。国連では、6月5日を「世界環境デー」と定めています。日本では平成3年度から6月の1ヶ月間を「環境月間」としています。この機会に環境のことを考えてみましょう。

SDGsという言葉を目にしたことがあると思います。SDGs (Sustainable Development Goals) は、「持続可能な開発目標」という意味です。世界中の国々が一緒になって、地球を住みやすい星にしようという取り組みです。人類はこれまでになかったような数多くの課題に直面しています。ゴミ問題、地球温暖化、気候変動、森林の減少、海洋汚染などなど。2030年までに、私たち一人ひとりが“今の私にできること”を始めてみるのが、未来の創造につながるようです。

(参照：環境省林が「世界がぐっと近くなるSDGsとボくらをつなぐ本」「SDGs国連世界を変えるための17の目標」)



『世界がぐっと近くなるSDGsとボくらをつなぐ本』池上彰/著 学研

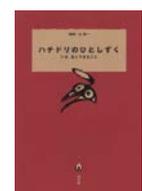
6番目に「安全な水とトイレを世界中に」という目標があります。地球は「水の惑星」と呼ばれているのに、水の問題は深刻です。地球に水はたくさんあるのに、人間が飲み水や農業、工業に使える川と湖の水は、地球上の水のわずか0.01%。また、きれいな水が使えるかどうかということも問題です。上下水道、トイレが整備されていないことで、きれいな水が使えず、小さな子どもが命を失ってしまうこともあるのです。

17の目標ごとに、図と表と解説で、丁寧に説明してあります。



『ワンガリー・マータイ』筑摩書房編集部/著 筑摩書房

環境保護運動家。2004年ノーベル平和賞を受賞。ケニアの農家に生まれ、ケニアの小中高校を経て、アメリカの大学を卒業。ケニアの自然の荒廃ぶりを目の当たりにし、グリーンベルト活動(植樹活動)を始めます。「私は『ハチドリ』のひとしずく」のハチドリなんです。私は私のできることをする。」と木を植え続けたのでした。また、「MOTTAINAI」を世界共通の言葉として人としても知られています。



『ハチドリ』のひとしずく いま、わたしにできること』辻 信一/監修 光文社

南アメリカの先住民に伝わるお話です。一森が燃えていました 森の生きものたちはわれ先にと 逃げていきました でもクリキンティという名の ハチドリだけは いったりきたり くちばしで水のしずくを一滴ずつ運んでは 火の上に落としていきます 動物たちがそれを見て 「そんなことをして いったい何になるんだ」といって笑います クリキンティは こう答えました 「私は、私にできることをしているだけ」



『プラスチックのうみ』ミシェル・ロード/作 小学館

「ごみです。ぼくたちがすてた ごみです。 さかなです。ぼくたちがすてた ごみのなかで およぐ、さかなです。 アザラシです。ぼくたちがすてた ごみのなかで およぐさかなを たべる、アザラシです。あみです。ぼくたちがすてた ごみのなかで およぐさかなを たべるアザラシに からみつく、あみです。… なんとかしなきゃ…きれいなうみを とりもどすんだ。…」小学校5年生の男の子が日本語に訳した絵本です。

4月～5月に
読まれた本

- | | | |
|-------------------|-------------------|--------------|
| 1 東京ディズニーシーベストガイド | 4 か「」<「」し「」ご「」と「」 | 4 ふしぎ駄菓子屋銭天堂 |
| 2 超図解！戦国武将事典 | 4 意味が分かると慄く話 | 4 大家さんと僕 |
| 2 本屋さんのダイアナ | 4 西の魔女が死んだ | |